



ABC RADIO

9
2026

TIME TABLE



ABC RADIO

9
2026

TIMETABLE

月
Mon

毎週月、金

素敵じゃないか

ドンデコレテ

マリーマリー

軟水

@gacchanko1008

水
Wed

深夜2時〜

シンクロニシティ

カラタチ

木
Thu

ON AIR

ド梅

ミカボ

金
Fri

ビスケットブラザーズ

バッテリーズ





「月曜がっちゃんこ」を一言で表すと?

柏木: 知と無知の化学反応。
吉野: かっこいいな。
スタッフ: 知はどなたですか。
柏木: 銀次さん。
小橋: 感性と知識のひけらかし。僕は感性でやっています。

「素敵じゃないか」はパートナーが変わりました。これまでとの違いは?

柏木: 先輩がいるんで、なんていうんですか……おんぶさせてもらってるって感じですね。
吉野: させてもらってる!? お前がしょってんじゃん。
銀次: 手厚い介護をしてもらってますね。

「ドンデコルテ」にとってこのラジオはどんな空間?

「スタッフを選ぶ神回」月曜がっちゃんこ「ダブルインパクト」(2026年3月3日放送)
ドンデコルテが「ダブルインパクト」で準優勝、素敵じゃないか吉野が結婚式を挙げた直後の収録。大会では、暫定席で長時間待ち続けたドンデコルテのリアルな心境の変化や、芸人仲間から届いた言葉など、舞台裏をたっぷり明かした。一方、吉野の結婚式では、相方・柏木がスピーチを任された際の極度の緊張や、その時の心境を披露。賞レース準優勝と結婚式、それぞれの華々しい出来事の裏側を、1時間にわたって語り尽くした回。

「火曜がっちゃんこ」を一言で表すと?

つるまる: 「わちゃわちゃ」とかですかね。わちゃわちゃしてる。
タコス: 同期なんですね。全曜日の中で唯一の同期。だから、一番赤裸々に喋ってる。
大川内: 確かに。どこに出しても汚い。
えびちゃん: 下品!
タコス: 原因はお前(えびちゃん)な! 俺らの下品には作品性があるから。
えびちゃん: 人って下品を隠しますけど、このぐらいさらけ出した方が聞かれますから。
つるまる: わざとなんや。

これまでで印象的だった回は?

タコス: 暴露されたことが一番…
大川内: 何を暴露されたんですか?

(※1) タコスの恋の物語 (2026年6月16日放送)

ある俳優に惚れたタコス。「LINEを直接聞くのは失礼」と考え、皿にケチャップでQRコードらしきものを描き、それを読み取れない相手に「こっちだったわ」と自分のLINEのQRコードを見せるという遠回りなアプローチを決行。さらに、その俳優がカラオケで歌った「シャングリラ」が忘れられず、単独ライブで突然曲を流された際には、動揺してネタを飛ばしてしまったという甘酸っぱいエピソードまで暴露された。

「水曜がっちゃんこ」の魅力を一言で表すと?

大山: 言われたら何でもやります。
よしおか: 「言われたら」ってのは?
大山: 「何々流行ってますよ」とか言われたらすぐやる。
前田: 指示待ち芸人の集まりということ。

シーズン2に入って「神回だった」と思う瞬間は?

西野: 何回も話してますけど…カラタチさんが沖縄料理屋に連れてって来て。大山さんがブルーシールを知らなくて、写真のついたメニューを見ながら探してたんですよ。それで、大山さんが店員さんにメニューを見せながら、「これはブルーシールですか?」って聞いたら、「それはサーターアングギーです」と言われた話。

(※2) 大山の砂糖水事件 (2026年4月29日放送)

健康オタクの後輩に「健康診断の日に砂糖水を飲んだ方がいい」と言われ、完全に信じた大山。シュガースティック30本入りを購入し、当日「何本入れるのが正解なんだ?」と悩んだ末、1本を水に溶かして律儀に飲んで健康診断へ。ところが、すべて後輩の冗談だったことが判明。大山は「これは犯罪だ!」と大激怒。周囲から「そもそも飲む方もおかしい」と指摘され、シンクロニシティ西野から「37歳にもなって、健康診断の日の朝に砂糖水を飲んじゃったことを大ごとにするのは恥ずかしいくないんですか?」と言われたが、「はあ?俺は騙された側だから!」と最後まで被害者であることを主張し続けた。

銀次: 誰かこうやって喋るなら、やっぱり「素敵じゃないか」が一番いいかな。
小橋: そうですね。一番、時間をともにしてきた感じですね。
銀次: 「聞いてくれよ」ラジオでもあるというか、「こういうことあったぞ」というのを報告するラジオでもありますね。

リスナーにメッセージをお願いします

小橋: 何だろうね。この番組は雑談に近いから、集中しなくても聞ける。お笑いお笑いしてるラジオよりも、こういうラジオの方が俺、結構好きで。
銀次: 理想のラジオができてる?
小橋: そう! 理想のラジオ。
柏木: あとは、小橋と吉野のミスにだけ敏感やったら笑えるんで、そこを聞き逃したらもったいないんで。
小橋: 急にミスのからね。
吉野: ミスが来る予兆はないからね。

えびちゃん: タコスが「ある俳優さん」のこと好きだっていう話。(※1)
タコス: もういい!
つるまる: ほんまに嫌そう。
タコス: 自分のことを赤裸々に丸裸にすればいいんですよ! 人のことまで勝手に赤裸々に、丸裸にするのは嫌なんですよ!

リスナーにメッセージをお願いします

タコス: 愛と性に疲れたら聞いてほしいっすよね。愛と性のサービスエリアとして、僕たちを。
大川内: 男女でこれ聞いたら、もうだいたい深いところまでいけるんちゃう?
えびちゃん: ストレスたまっている時こそ、聞いたらスッキリするかもしれないですね。
大川内: ホンマのこと言ってるからね。

大山: もういいって! よしおか: その話、大好き。
大山: 何回すんの!? 最近、その話をするベースが上がってたんだよ。
前田: 落語のように伝えていきたい。
大山: 俺は神回というか、一番むかついたのは、「砂糖水」だけだね。ここ最近で一番許せなかった。(※2)

リスナーにメッセージをお願いします

大山: 唯一、2年目継続しているのがありますんで、ちょっとハードルを下げて聞いていただきたいですね。
よしおか: 上げてくれよ。
大山: 他の曜日はフレッシュじゃないですか。我々は2年目ということもあって、どうしてもフレッシュさはないので、このゆったりした空気感を楽しんでいただければと思います。

若手芸人の個性と個性が“がっちゃんこ”! コンビ2組が、曜日ごとにここでしか聞けないトークを繰り広げる新感覚プログラム。笑いあり、暴露あり、妄想あり。日本一楽しくて賑やかな深夜をお届けします。

stand.fm Podcast YouTubeで番組アーカイブを配信中!

さらにstand.fmではここでしか聴けないコーナーなど、オリジナルコンテンツを独占配信中!



他の曜日と比べて「木曜がっちゃんこ」のすごいところは?

村田: とにかく吉本社内の評価がすごく高い。
山田: 確かに。かなり高いですね。
村田: この間も神保町でネタ合わせしようと思って、エレベーターが開いたら吉本のスタッフさんが9人ぐらいいて。「うわー!」みたいな反応されたから、「どうしたんですか?」って聞いたら、「ちょうどみんなで「木曜がっちゃんこ」が面白いて話してたんですよ」って。
山田: かなり広がってきて流行ってるからね、今。
村田: 最初はお便りゼロ通から始まるから。そっから考えたら、今はもう飛ぶ鳥を落とす勢い。唯一、水曜日に対抗できるんじゃないかっていう。
山田: めちゃくちゃ元気!
かつやま: 「爆音老人会」なんて言われてるぐらいなんで。
土屋: 最新トレンドとかをいろいろ押さえることもやってるし。

「スタッフを選ぶ神回」ドバイチョコ餅と爆音老人会 (2026年4月9日放送)

初回放送でアイドルやアプリの名前が分からないなど、若手芸人なのに流行に疎いことが発覚した木曜メンバー。「トレンド発信番組になりたい!」と、土屋が朝9時から新大久保に並び、流行りの「ドバイチョコ餅」を差し入れ。「めっちゃうまい!」「今、口の中は10代!」と大はしゃぎするも、その騒がしさをリスナーから「爆音老人会」と命名され、いつしか番組の代名詞に、「爆音老人会」が生まれた記念すべき回。

他の曜日と比べて「金曜がっちゃんこ」の魅力は?

きん: 沢村からん話をしているところ。
原田: 全くエピソードトークじゃないところですかね。
きん: ファンタジーをみんなで共有できてるよね。頭の中を。
寺家: 具体的には「チーターの回(※3)」とか。
原田: 個人的には「気球の回(※4)」が聞きやすかった気がします。全員が寺家に提案してる感じとか。

(※3) チーターの回 (2026年4月24日放送)

宇宙船オリオンが月の裏側まで飛行したという情報から、「その距離をチーターなら約半年、新幹線なら約2か月」という話題に。すると「原田ならどれくらい?」となり、原田は「宇宙なら誰にも見られないから自由に能力を使える」と豪語。そこから「宇宙を飛んでいる原田は「未確認原田」なのか?」という謎の議論に発展。地球にいる原田は「確認原田」、宇宙の原田は「未確認原田」など、新たな言葉が生まれ、それぞれの原田について延々と議論が続く。最後は「大学教授に整理してもらおう」「チーターと通訳も呼ぼう」とさらに脱線。宇宙船のニュースから始まった話が、誰も着地点を見つけれない壮大なファンタジーへと膨らんでいった。

(※4) 気球の回 (2026年6月5日放送)

6月5日が「熱気球が初めて飛んだ日」という話から、「もし自分たちが気球だったら、寺家は誰に乗りたい?」という妄想へ。エースは、両足にカゴをつけ、ターボライターの炎で体内の空気を温めて飛ぶというプラン。きんは、あぐらをかいて寺家を乗せ、旅館の固形燃料で熱を取り込み、女将さんに「飛べごろです」と教えてもらう旅館方式。一方、原田は「俺が空から浮いてきて、ふわっと寺家のもとに舞い降りる」と安心感を猛アピール。3人の熱烈なプレゼンの末、寺家が選んだのは「ライセンスを持った人の気球」という現実的な答えだった。それでも原田は「その人の予定が取れず、飛び気満々で待つ寺家のもとへ、空から「寺家〜!」と俺が迎えに来たら?」と食い下がるも、寺家は「怖すぎて逃げます」と即答。実はこの原田、以前の放送で宇宙から飛んできた「未確認原田」の再登場だった。過去のファンタジーまで回収する、金曜らしいトークとなった。

負けたくない曜日は?

全員: 水曜日!
かつやま: 理由は、カラタチの大山さんが生意気言ってるからです。
村田: 「木曜がっちゃんこ」の初イベントを神保町よしもと漫才劇場でやったんですけど、開催前にそれを知った大山さんが「神保町、ちっちゃくね?」って言ったんです。それを僕たちは許してません。
山田: 一生忘れません。大山さんの墓石の端っこに「ちっちゃくね」って入れ込みます。

「木曜がっちゃんこ」今後の展望は?

全員: 武道館ライブ!
スタッフ: 「がっちゃんこ」全体で?
山田: いやいや、「木曜がっちゃんこ」で。大山さんから「でっかく出たな」って言っていたからです。
村田: あと、2年連続でやってるの水曜日だけでしょ?だから、それに対抗して木曜日もずっと続けたい。水曜日の終わりを見届けたいです。

番組を聴くとどんないいことがありますか?

きん: 記念日に詳しくなります。
エース: もうええねん!
きん: なんでよ〜。
原田: そういう記念日があったことは覚えてるけど、それがいつやったかは全く覚えられない。
寺家: 知識系が多いですね。
きん: でも、記念日には間違いなく詳しくなる。



月~金曜 深夜2時~3時